

埋蔵文化財の活用③

生涯学習課では、遺跡発掘調査や出土品の整理・収蔵・展示などについて、多くの市民の方々に活用していただけるような取り組みを実践しています。

土橋遺跡の一般公開を開催しました

令和1年12月21日（土）～27日（金）までの6日間、市内百津地内で発掘調査を行っている土橋遺跡の一般公開を開催しました。冬期間であるにもかかわらず、期間中164人の大勢の方々が見学に来られました。寒い中、本当にありがとうございました。一般公開の様子については、「土橋遺跡発掘調査だより1月号」に掲載しました。ご覧ください。

今回はクリスマスシーズンでもあり、いつもとは一味違う趣向を凝らしました。「ミニ展示コーナー」には、クリスマスオーナメントの飾り付けをしました。子供たちにも大好評だったようです。

別紙には、今回の一般公開に関する集計結果を提示しました。集計結果からはいろいろなことが見えてきます。

見学者総数164人は、これまでの一般公開（6年前から5遺跡で開催）の中で最も多い見学者数です。また、初日21日（土）の見学者74人も、1日の最高見学者数になりました。その後の平日見学者数も2ケタ代を維持しました。市内からの見学者は104人、市外からは60人で、全体の6割が市民の方々になります。この結果から、「遺跡の一般公開」が市民の皆さんにとって定着したイベントなりつつあることがうかがえます。その一方で、いくつかの課題も見えてきました。なかでも10～20歳代の見学者数はとても少ない傾向にあります。今後は、若い方々にも魅力のある公開・活用事業の内容を考えていきたいと思えます。



石船戸遺跡が「発掘された日本列島展 2020」に出展！

平成24～26年度に発掘調査を実施した市内堀越地内の「石船戸遺跡」が、来年度開催される文化庁主催「発掘された日本列島展 2020」に出展することが決まりました。

全国の代表的な遺跡・出土品を展示し、期間中全国5か所の博物館を巡回するこの展示会は、平成7年から続くビッグイベントです。

縄文時代では、数ある遺跡の中から「石船戸遺跡」が選ばれました。全国に誇ることができる阿賀野市の宝物がまた一つ増えたこととなります。

6月の江戸東京博物館（東京）を皮切りに、夏に新潟県立歴史博物館（長岡市）に巡回します。

ぜひ、皆さんお出かけください。



石船戸遺跡出土品